

学生の支援に関する方針

国際基督教大学の目的は、キリスト教の精神にもとづき、自由にして敬虔なる学風を樹立し、国際的教養と民主的社會人としての良識を有し、神と人ともに奉仕する良心的人材を養成することにある。学生支援は、この目的に資するために行われる。

<学修支援>

- ・学生がリベラルアーツを自らのものとし、批判的思考力や表現力などの様々な能力を身につけるために必要な支援を提供し、環境を整備する。
- ・教員、職員、学生ピア・アドヴァイザーなどの複数のチャネルからなるアドヴァイジング体制を通じて、学生が自らの目標の達成に向けて学びのプロセスを組み立てて行くことのできる自発的学修者となることを支援する。
- ・世界人権宣言の原則に立ち、すべての学生が機会の平等を基礎としていかなる差別もなく尊厳をもって学ぶことができるよう、学生・教職員・関連部署と連携して、合理的配慮を含む大学全体のユニバーサルな学修環境を整備する。

<生活支援>

- ・経済的支援にたいする学生のニーズに応えるため、学内外の奨学金を周知し、個々に向き合い丁寧に相談できる体制を整備する。
- ・安心して学業を続けられるよう、多様な奨学金の提供を図る。大学独自の奨学金の多くは、卒業生をはじめとする方々からの寄付金、および大学が保有する基金の運用益が原資で、本学で学ぶ意欲の高い学生を大学関係者全体で支援する。
- ・課外活動やその他の社会活動を勉学と両輪をなす大切な学びの場として位置付け、己の心身と向き合い、創造性や対人スキル、自治自律などを習得する機会として支援する。
- ・学生が心身共に安心した学生生活を送れるよう、健康管理体制及び相談体制の充実を図る。
- ・自分と異なる属性、境遇、価値観を持つ人への共感と尊重を育み、学生一人ひとりが安心して学ぶことのできる環境を整える。

<キャリア支援>

- ・学生一人ひとりの価値観を最大限に尊重し、主体的な進路選択に向けた個々の取り組みを手厚く支援する。
- ・リベラルアーツ教育で培われた多角的な視点の活用も促し、固定観念に囚われない、真に納得度や満足度の高い意思決定を後押しする。